

# 第12回日本CNS看護学会

高度実践看護が担うイノベーション

—融合する知の実装—

(2025年8月2日・3日)

## 開催趣意書

第12回日本CNS看護学会

大会長 藤田冬子

神戸女子大学大学院 看護学研究科 教授

老人看護専門看護師

# 第12回日本CNS看護学会開催にあたり 大会長挨拶

謹啓

貴社におかれましては、時下ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は日本専門看護師協議会の活動に関しまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、第12回日本CNS看護学会大会長に選任され、令和7年(2025年)8月2日(金)・3日(土)の2日間、第12回日本CNS看護学会を神戸国際会議場において開催させていただくこととなりました。

本学会主催の日本専門看護師協議会は2007年に誕生し、専門看護師(CNS: Certified Nurse Specialist)が自らの高度実践の質保証や活動の場の取り組み、看護の質向上、国民の健康の維持・増進のための政策提言、その実現に向けて活動することを目的としています。現在、公益社団法人日本看護協会により資格認定された専門看護師は3,316人(2023年末)であり、そのうち、約6割(1,843人)が本学会会員として所属し、保健医療福祉施設など様々な場で活躍をしています。

また、日本CNS看護学会は2014年より毎年1回開催し、この度、2025年に第12回を迎えることとなりました。そこで、第12回日本CNS看護学会のテーマを「高度実践看護が担うイノベーション ―融合する知の実装―」としました。これまで、専門看護師は保健医療福祉や地域など様々な場で、人々の誕生から最期のときを迎えるまで安らかに過ごすことができるよう支援してきました。また、このような支援の場においては、保健医療福祉に携わる専門職、地域ケアの担い手などと、それぞれが持つ実践知を融合させ、その場に最も適する方法を創造し実装し続けています。専門看護師はこのプロセスを繰り返すなかで、2040年はもちろんのこと、ずっとその先の未来に向けても高度看護実践を熟成させ、また、変革者としてイノベーションの担い手となることが求められています。

高度実践看護の成果が集結する本学会では、学会テーマに基づき、基調講演、教育講演、シンポジウム、教育セミナー、交流集会をはじめ、一般演題として口演・示説発表、共催セミナー等のプログラムを予定しております。第12回日本CNS看護学会では、専門看護師だけに限らず、ナース・プラクティショナー(仮称)などの高度実践看護の実践者はもちろんのこと、これから高度実践看護師を目指そうとする看護職、高度実践看護の養成に携わる教育者などの参加も期待しています。

そこで、このような学会の内容を充実させ、その成果を大いなるものとするため、関係各位からのご協力を仰ぎ、ご支援を賜りたいと存じます。尚、本会は「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」において公開対象となっている「学術研究助成費」に係る情報を、標記ガイドラインに基づき日本製薬工業協会会員他、各社が公開することを承諾致します。貴社におかれましては、本学会開催の趣旨にご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。末筆ではございますが、益々のご清栄を祈念申し上げます。

謹白

2024年8月吉日

第12回日本CNS看護学会

大会長 藤田 冬子

神戸女子大学大学院看護学研究科 教授

老人看護専門看護師



# 第12回日本CNS看護学会 開催概要

## 1. 会議名称

- ① 第12回日本CNS看護学会

## 2. 主催機関の名称

- ① 一般社団法人日本専門看護師協議会

住所：〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8

## 3. 学会開催日と会場

- ① 開催期間:令和7年(2025年)8月2日(土)・3日(日)

- ② 開催会場:神戸国際会議場

(ア) 〒650-0046 兵庫県神戸市中央区港島中町6-9-1

(イ) TEL 078-302-5200

- ③ 対面による集会とし、ライブ配信の予定はございません。一部のプログラムは後日オンデマンド配信の予定です。

## 4. 大会長

藤田 冬子 (神戸女子大学大学院看護学研究科 教授 老人看護専門看護師)

## 5. 学会の概要

(1)テーマ:「高度実践看護が担うイノベーション –融合する知の実装–」

(2)内 容(予定)

大会長講演、特別講演、教育講演、スキルアップセミナー、シンポジウム、交流集会、一般演題 等

【協賛行事】共催セミナー、商業展示会

(3)学会ホームページ URL:<https://pac-mice.jp/jpncns2025/>

(4)参加予定者 約1,500人

(5)参加対象者 高度実践看護師、教育・研究者、医療従事者、学生

特記:日本製薬工業協会他、貴団体、貴社の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「貴社、貴団体と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を「学会名」「共催セミナー名」の通りに、貴社、貴団体のウェブサイト上に公開することに同意します。

## 6. 準備・運営体制

### 大会長

藤田 冬子 (老人看護専門看護師 神戸女子大学大学院看護学研究科 教授)

### 企画委員

市原真穂(小児看護専門看護師 千葉県立保健医療大学)  
鴨川七重(遺伝看護専門看護師 東海大学医学部付属病院)  
樽松久美子(急性・重症患者看護専門看護師 北里大学病院)  
桑田美代子(老人看護専門看護師 青梅慶友病院)  
寺岡征太郎(精神看護専門看護師 帝京大学)  
長崎由紀子(感染症看護専門看護師 愛知医科大学)  
原田かおる(老人看護専門看護師 大阪医科薬科大学)  
三輪恭子(地域看護専門看護師 大阪公立大学)  
米田昭子(慢性疾患看護専門看護師 山梨県立大学)  
渡邊真理(がん看護専門看護師 湘南医療大学)

### 事務局

第12回日本CNS看護学会事務局  
神戸女子大学 看護学部・看護学研究科 藤田研究室  
〒650-0046 神戸市中央区港島中町 4-7-2  
TEL: 078-303-4904 E-mail: f-fujita@yg.kobe-wu.ac.jp

### 運営事務局

第12回日本CNS看護学会運営事務局  
株式会社プロアクティブ  
〒650-0034 神戸市中央区京町 83 番地 三宮センチュリービル 3 階  
TEL: 078-954-5160 FAX: 078-332-2506 E-mail: jpncns2025@pacmice.jp

7. 日本専門看護師協議会 理事・監事一覧 (2023年6月5日現在)

	氏名	専門分野	所属
代表	市原 真穂	小児看護	千葉県立保健医療大学
副代表	宇都宮 明美	急性・重症患者看護	関西医科大学
	浅野 浩子	母性看護	武庫川女子大学
	井沢 知子	がん看護	京都大学医学部附属病院
	石川 幸司	急性・重症患者看護	北海道科学大学
	小野 美雪	家族看護	淡海医療センター
	河野 佐代子	精神看護	慶應義塾大学病院
	河野 伸子	精神看護	横須賀共済病院
	佐藤 直子	地域看護・在宅看護	東京ひかりナースステーション
	新改 法子	感染症看護	青森県立保健大学
	田墨 恵子	がん看護	大阪大学医学部附属病院
	田中 久美	老人看護	筑波メディカルセンター病院
	西山 みどり	老人看護	有馬温泉病院
	藤原 由佳	がん看護	兵庫県立大学大学院博士後期課程
	前澤 美代子	がん看護	山梨県立大学
	米田 昭子	慢性疾患看護	山梨県立大学
監事	長田 暁子	小児看護	高知県立大学大学院博士後期課程
	寺岡 征太郎	精神看護	帝京大学

(代表1名 副代表1名 監事2名)

## 8. 収支予算計画

### 収入の部

(単位:円、税込)

項目	備考	単価	数	合計
学会参加費	事前登録 会員	10,000	950	17,130,000
	事前登録 非会員	12,000	200	
	事前登録 院生	7,000	40	
	事前登録 学部学生	2,000	10	
	当日登録(2次登録) 会員	11,000	250	
	当日登録(2次登録) 非会員	13,000	150	
	当日登録(2次登録) 院生	7,000	30	
	当日登録(2次登録) 学部学生	2,000	10	
共催セミナー費		330,000	2	1,100,000
		220,000	2	
商業展示出展費	医薬品・医療機器	165,000	10	1,688,500
	書籍	38,500	1	
抄録集広告掲載費	表4 ページ	165,000	1	759,000
	表2 表3 ページ	110,000	2	
	後付け1 ページ	55,000	2	
	後付け1/2 ページ	44,000	6	
その他広告費	ホームページバナー	165,000	1	330,000
	幕間広告	165,000	1	
助成金	日本専門看護師協議会	2,000,000	1	2,900,000
	中内力コンベンション振興財団	900,000	1	
収入合計				23,907,500

### 支出の部

(単位:円、税込)

項目	備考	合計
事前準備費	事務局費、印刷費、製作費、ホームページ、演題登録、参加登録	5,400,000
会場費・会場設備費	神戸国際会議場利用費	4,300,000
当日運営人件費	受付、クローク、会場等係員、指揮者	3,600,000
当日運営映像機材費	会場内映写機材	3,850,000
看板・施工関連費	展示小間、ポスターパネル等	1,400,000
講師講演料・招聘旅費	非会員講師招聘費	400,000
講師等謝金	非会員講師謝礼	500,000
関連行事費	委員会他	700,000
通信・郵送費実費	抄録、参加証、ポスター等発送費、電話、FAX	400,000
事後事務処理費	お礼状発送等、オンデマンド配信、源泉徴収費等	266,000
協議会返金	日本専門看護師協議会	2,000,000
予備費	預かり消費税(795,990円)他	1,091,500
支出合計		23,907,500